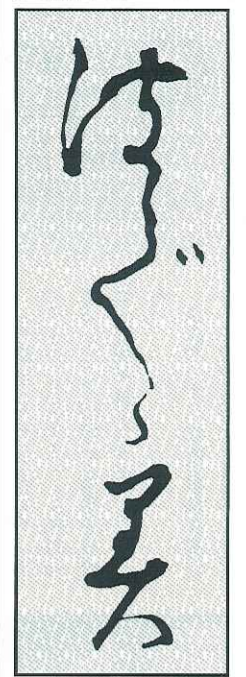


大分県PTA



発行所 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館2F 大分県PTA連合会 ☎(097)556-9055 http://www.oita-pta.com/ 責任者 富永大輔 印刷所 大分市高江西1丁目4323番25 いづみ印刷株式会社



子育ての原点は家庭から

～手を携えて育てよう「地域の宝」が光り輝くために～

平成25年度 第65回 大分県PTA連合会定期総会



あいさつする富永県P連会長

富永県P連会長 富永大輔 挨拶。平成25年度大分県PTA連合会定期総会が6月6日、広瀬勝貞大分県知事(代理)二日市正副知事(代理)をはじめとする多数の来賓を迎え、県下16郡市等P連の代表員と被表彰者を含む約130名が出席して県教育会館で開催された。

大分県PTA連合会 平成25年度 第65回 定期総会

「心豊かで正しい判断力を持ち、困難を切りひらくたくましい子ども」の育成をめざし、会員の総力を結集することを宣言した。

生きる力を育む 取り組みを

はじめに富永大輔県P連会長は、一昨年の東日本大震災また昨年7月の九州北部豪雨災害への協力に対して謝意を述べた。「近年、少子化の進行や地域コミュニティの希薄化、携帯・インターネットの普及など社会環境は大きく変化している。その中でイジメや体罰の抑止、不登校の減

誇りと責任のある 子育てを

そこで、平成21年度に策定された「保護者心得六箇条」の活用を更に推進していきたい。まずは大人が手本となり、子どもたちに私たちの姿を見せよう。誇りと責任を持って子どもたちの笑顔あふれる未来に向けて楽しく、元気にPTA活動を進めていきたい」とあいさつした。

心の通った 学校組織の推進

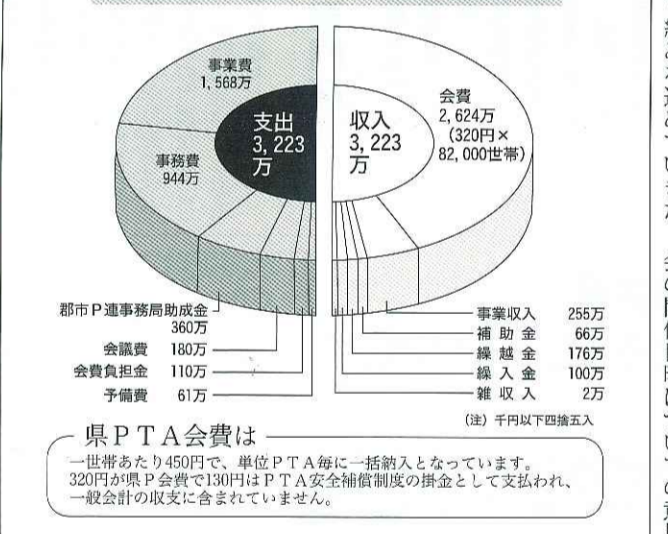
続いて、PTA活動に貢献した国東市立安岐中央小学校Pほか4団体と、梅高賢正中津市立中津中学校P会長をはじめとする個人29名に表彰状が、3団体・5名に感謝状が贈られた。



富永会長と被表彰者の皆さん

広瀬勝貞知事は「県民の皆さんが将来に希望をもって子どもを育て、安心して暮らせるような大分県作りを目指している。子育て満足度日本一を目標とし医療費や保険料の一部的負担、経済的支援や児童虐待未然防止など、社会全体で子育てを支える体制作りをしている。21世紀をなう子ども教育については、家庭・学校・地域が協力して子どもの学力と体力の向上に努めることが重要。県として今年度から『心の通った学校組織推進プラン』を策定し、市町村と連携してしっかりと取り組みを進めていきたい」と述べた。

平成25年度一般会計予算



収入 3,223万 支出 3,223万 事業費 1,568万 事務費 944万 会費 2,624万 (320円×82,000世帯) 市立P連事務局助成金 360万 会議費 180万 会費負担金 110万 予備費 61万 事業収入 255万 補助金 66万 繰越金 176万 繰入金 100万 雑収入 2万 (注)千円以下四捨五入

平成25年度の 主な事業 第61回日本PTA全国研究大会 みえ大会 8月23日(金)〜24日(土) 第58回九州ブロックPTA研究大会 おきなわ大会 10月26日(土)〜27日(日) 県PTA指定研究校発表大会 (平成24・25年度) 大分市立植田小PTA 11月2日(土) 別府市立浜脇中PTA 11月10日(日) 佐伯市立佐伯東小育友会研究校(平成25・26年度) 中津市立三郷小PTA 大分市立植田東中PTA 津久見市立青江小PTA 教育問題懇談会 11月22日(金) 第22回県PTA研究大会 日田・玖珠大会 平成26年1月26日(日)

平成25年度の役員紹介

| | | |
|--------|-------|---------|
| 会長 | 富永大輔 | 大分市 |
| 副会長 | 和田俊二 | 大分市 |
| 理事 | 横松寛二 | 中津市 |
| | 河合豊彦 | 豊後高田市 |
| | 亀井代志文 | 宇佐市 |
| | 岡山栄蔵 | 日出町 |
| | 矢野誠治 | 国東市・姫島村 |
| 参事 | 門脇義人 | 大分市 |
| | 渡辺孝弘 | 大分市 |
| | 廣瀬多賀子 | 佐伯市 |
| | 疋田啓二 | 佐伯市 |
| | 藤田和秋 | 白杵市 |
| | 和田俊二 | 別府市 |
| | 石井博行 | 津久見市 |
| | 河島健吉 | 津久見市 |
| | 大田宗一郎 | 大分市 |
| 会計監査委員 | 河野睦夫 | 宇佐市 |
| | 安東美智代 | 大分市(T) |
| | 吉住信也 | 玖珠郡 |
| 顧問 | 池内晴一 | 竹田市 |
| 相談役 | 藤田千克由 | 大分市 |

▼ふるさととは、人が将来にわたって依って立つところ。同じまちで生まれ育った先人たちが伝わる何かがあるはず。その人の人間としての素暗らしさを知るとともに、国東の良さを実感してほしいです。(ふるさと国東の偉人伝) はじめに、市教育長山本泰光「この刊行は市合併当初から声があり、住民生活に光をそそぐ交付金事業一採択により実現。時宜を得た企画に拍手を贈りたい。上梓で事業が終わったのではない。この本が児童生徒に愛読活用されてこそが成果目的である。就中、先生方は、学習の中に是非位置付けていただきたい。執筆さし絵の先生方は、地元へ生まれ、郷土愛や研究心が行間や画面に溢れている。そこで提案。この先生方をゲスト・ティーチャーにお招きしていただきたい。各種の職業人やボランティア活動に取り組み、様々な知識や趣味を持つ人、その道の専門家語る言葉は「生きた、本物の」体験や情報として、本物のことを担当が語るよりも新鮮で児童生徒が意欲的になる。▼先日、「三浦梅園先生から学ぶこと」の題で、資料館研究員濱田晃先生の講演会を開いた。「朝に存溪の水を汲み、暮に存山の雲に臥す、我に於てか足る(私は此処で充分ですの意)。恥を知れ、独鑽、慎独の字句の意味や高邁な研究論述は然り乍らその「自足」の精神こそが偉人たる所以である(先生談)ことを学んだ。今や自給自足を忘れた世の中になった。国東だけでなく県下には国内外に誇る偉人がたくさんおられる。夏休みの一、親子で地元の偉人伝を語り、遺跡探訪をおすすめしたい。

ネットワーク 16 報

村PTA

(16は県下郡市等P連の数)

中津市

会員数 6,204
PTA数 33
準会員 1

「テレビを消して夕ごはん ゲームをやめて一家団らん！」

中津市PTA連合会

中津市PTA連合会は組織のスリム化を目標に、小学部・中学部・女性部の三部体制とスリム化を図りました。それぞれの部が課題を検討し活動を展開しています。

「家族のコミュニケーションを深めよう」

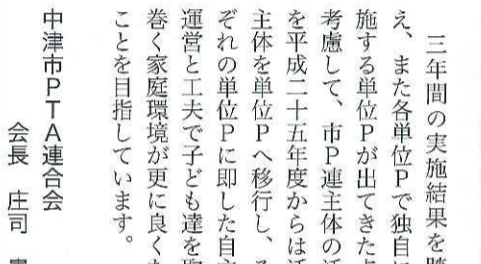
活動の中で三年前より「ノーテレビデー」と銘打ってメディアづけの日常を見直す活動を訴えてまいりました。

平成二十二年度を初年度にして活動に対する指導を九州



講演会の様子

講演会後の質問会では多くの意見も出て取り組みへの意欲がうかがえるものでした。実施に当たっては市P全世界へ単位Pを経由してアンケート用紙を配布しました。アンケートの中には保護者の回答と子ども達の回答欄を



講演会の様子

「早寝早起き朝ごはん」と連携し更なる活性化を目指す

三年間の実施結果を踏まえ、また各単位Pで独自に実施する単位Pが出てきた点を考慮して、市P連主体の活動を平成二十五年度からは活動主体を単位Pへ移行し、それぞれの単位Pに即した自主的運営と工夫で子ども達を取り巻く家庭環境が更に良くなることを目指しています。

中津市PTA連合会
会長 庄司 貴之

6月21日(金)、県P連幹部研修会が大分市コンパルホールで開催され、県内16郡市等の県P連理事、母親代表、事務局長の57名が出席した。理事会の後、各専門部会、合同研修会が行われた。



理事会の様子

幹部研修会は年に一回開催。会員一人ひとりの意識を高め、強い連帯感をもってPTA活動が行われることを目的とした研修会である。議事に先だって、富永大輔県P連会長があいさつ。新しい顔ぶれとなった理事たちを前に、「PTAとは人と人とのつながりである。子どもたちのために今、何ができるのか、また何が最善であるのかを考えながら活動していきたい」と強調し、開催の意義を述べた。



意見交換する参加者

理事会

い」と強調し、開催の意義を述べた。

平成25年度 県P連 幹部研修会

子どもたちのために 今、何ができるのか

広報紙コンクール表彰式などの県P各種行事についての経過報告をした。

議事の中では、専門部会の家庭教育部会・学校教育部会、それぞれの所属決定も行われた。専門部会の主な協議内容は次の通り。

専門部会

- ・家庭教育部会
 - ・補償制度パンフレットの検討
 - ・三行詩募集・審査
 - ・指定研究発表会参加
 - ・「保護者心得六箇条」の検討・普及・推進
- ・広報紙業者選定
- ・学校教育部会
 - ・全単位PTA会長研修会に向けて
 - ・教育問題懇談会について
- ・PTA活動の情報交換
- ・家庭教育問題と身近な食生活に関する問題の検討
- ・特別委員会
 - ・県Pの運営等に関する事項の検討

みんなが がんがえる コーナー

「ゆるゆる」で心の洗濯を

「ゆるゆる」。地域のPRを背負い、精力的な活動が目を引き、各地で評判。おおよそ、10年前から続き、今も人気不衰、各方面に広がりをみせているらしい。名産品にも気持ちが動かされるが、その仕事、「ゆるゆる」に吸い込まれ、「ゆるゆる」が気持ちを和ませてくれる。「人に喜ばれる」パフォーマンスを売りにする「ゆるゆる」に接する私たちは、笑顔で応えることができる。「喜び」が「悦び」を呼び起こす作用が、ヒトに組み込まれているとしたら、それは、あたりまえのことかも。

中一の愛子さんは、クラスの学級委員。校則に決められた長研修会について話し合われた。今年度は、現場に即した参加型研修を目指し、多くの会長に参加してもらえよう。具体的な内容を協議した。

また家庭教育部会は、大分県PTA連合会補償制度の加入促進を目指し、周知を図るなど基礎を固めていくための話し合い等がなされた。

講演要旨

学校全体で 子どもの力を上げる

「心の通った学校組織」

「心の通った学校組織」とは、一、校長のリーダーシップのもと、具体的な目標を持つ、ミドルリーダーたる主任の教員が、その役割をしっかりと果たす体制(心)ができていく学校。二、より良い教育を目指し、目標(心)や取組をしつかり決めて組織で取り組んでいる学校。このように学校全体で子どもの力を上げる組織であり、学力向上のためにも必要である。学力調査の結果では、昨年より向上がみられている。非行と、学力、体力は必ずしも無関係ではないと思われ、

「わかる授業」「力が付く授業」を通して、学力を高めることは重要ではないだろうか。また、中学校における生徒指導については、組織力が試される。学校は抱えこみせず、いかに

た服装のチェックが役割。細かな点検項目を〇、×で評価。その評価を時折、甘くするらしい。「バツばかりでは、その人は、イヤな気分になるので、ちよつとゆるめるの。」と愛子さん。

いろんな人に出会い、相手を知り、自分を知るようになった愛子さんの「ゆるゆる」か。目の前の不安、きつさを押し込め、うわべだけの「ゆるゆる」も大事だが、「ゆるゆる」が自分をみつめるきっかけとなって、相手の心に自分を写せることにつながることもある。広がってほしい「ゆるゆる」である。

みんなで考えるコーナー

室長 岩尾 淳一

合同研修会

合同研修会では、佐野壽則県教育庁教育長が「志の通った学校組織」による子ども達の力向上」と題した講演会を行った。

講演する佐野課長

「わかる授業」「力が付く授業」を通して、学力を高めることは重要ではないだろうか。また、中学校における生徒指導については、組織力が試される。学校は抱えこみせず、いかに

編集後記

昔、素敵な先生がいた。その方のご主人が校長として我が校へいらした。似ている。面影を重ね、懐かしんでいる。▼伝えたいつもりでも相手に伝わらなければ伝えたことにはならない。記事も同じかな。伝わるように、わかりやすく。

大分県PTA連合会の事務局を紹介いたします。

事務局長 坂口 一郎(新)

事務局員 濱地 京子
飯田 由華

県P全単位PTA会長 研修会 8月3日(土)

大分県PTA連合会補償制度

(PTA育英補償制度(子ども総合保険))
(PTA自転車安全補償制度(自転車総合保険))

多数のお申込みをいただきまして、誠にありがとうございました。

平成25年度の加入の申込受付は6月25日(火)をもちまして終了いたしました。

〈保険にかかるとお問い合せ・事故にあわれた時のご連絡先〉

(コール) 0120-56-8993 受付時間 月~金 9:00~17:00

(取扱代理店) はぐく美保険サービス株式会社
大分市大字下郡496-38 大分県教育会館2F

※上記時間外はこちらにご連絡ください。
24時間365日事故受付サービス(三井住友海上事故受付センター) 0120-258-189